



ともに生きる社会かながわ推進週間

地域で生きる

問 福祉課 ☎84-0316

平成28年7月26日、障がい者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において、46人が殺傷されるという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やその家族のみならず、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。

神奈川県は、7月26日を含む一週間を「ともに生きる社会かながわ推進週間」と決めました。

町には様々な人が住んでいます。一人ひとりが個人を理解し、共に生きることができ、誰もが活躍できる社会の実現に向け、私たちのできることを考えます。

今回は、発達障がいがあり、苦手なこともあるけれど、お母さんの営むお店を手伝いながら、地域で活動する伊藤稔さん(19)とお母さんの伊藤由美子さん(49)をご紹介します。

手帳をとったきっかけ

稔さんは、授業中にじっと座っていることや集団の中で皆と同じように勉強をするのが苦手で、授業中に教室の後ろに行ったり、鼻歌を歌ったりしていました。

療育手帳を取るようになったきっかけは、中学生になり担任の先生に「発達の検査をしてみたら？」と勧められて検査をしたことでした。その時にお母さんは、先生の勧めを素直に受け止められたと

言います。「自分の子どもにどうしても主観的になりがちですが、客観的にいることを忘れたくありませんでした」

検査結果を受けて

検査の結果、中学1年生当時の稔さんは、小学2年生程度の発達ということがわかりました。

お母さんは、当手を振り返って「結果を受けて、納得したところがありました。」「なんで大きくなったのに、これができないの?」「なんでもできないの?」と稔に怒ってばかりでしたが、検査の結果を聞いてからは、「ここまでできたから良かったね!」とできたことを褒めるようになりました。

障がいと向き合う

学校の先生に勧められて発達障がいの本を読んだ時に、「これ、あてはまる!」と思っ

たそうです。

「学校の先生は僕に、多動性があると言ったけれど、授業中に立って歩いている生徒は他にもいたのに、何で僕だけが言われるのだろう?」と思っていました。別に手帳を取ったからといって、何かができるなくなるわけではありません。でも、嫌だと思ったのは、アルバイトの面接の時です」と稔さん。面接の時に、療育手帳の話をする、「採用できない。」と言われたこともあったそうです。

外見では、障がいがあるかわからない稔さんを理解してくれない人もいて、相手に障がいのことを話すかどうか迷うそうです。

開成町は住みやすい

地域の皆さんが理解してくれている開成町は、とても住みやすいと稔さん。お母さんも、地域に支えられてきたと言います。その想

いは、お母さんが営む飲食店にも繋がっています。

「「きずな」という店名は、地域での「絆」に私たち家族が支えられてきたという思いを込めて付けました。このお店には、来てくれる地域の皆さんと、私たち家族の「絆」があると、私たちが家族の「絆」があると思います。障がいをなるべくオープンにして、地域の皆さんと関わっていきたくて思ってきました。稔はなかなか人とコミュニケーションをとることが苦手で悩んだりもしていますが、そうやって地域に育ててもらっています。近所の皆さんに助けられて子育てしてきました」とお母さん。

稔さんも、阿波おどりや子どもの遊び場であるプレイパークなど地域の活動に積極的に参加しています。

「阿波おどりやプレイパークに参加することで、稔の地域での居場所ができています。稔は昔から生き物が好きで、知識が豊富です。また、自然の中で遊ぶことが得意

なので、その特技がプレイパークで生かされています」とお母さん。

自分の特性を理解する

稔さんは、人に言われた指示を実行するのは苦手ですが、自分の目で何回か見て、覚えたことはできるようにになります。

「障がいだとは思っていない」と稔さん。

自分の好きなこと、苦手なこと、できること、できないこと等、少しずつ自分のことを理解しながら、自分の特技を生かし、地域で活動していきます。

障がいの有無に関わらず、得意なこと、苦手なことは人それぞれあるものです。手帳を持っていても、持っているだけでなく、その個性を互いに理解し、共に生きていくことができます。真の意味で「障がい」はなくなるのではないのでしょうか。



- ① 生き物が大好きな稔さん
- ② お店には地域の人が集まる
- ③ 温かく迎えてくれるお食事処
- ④ 笑顔が素敵なお母さん
- ⑤ 魚をとるのが得意な稔さん(プレイパークにて)
- ⑥ 川の達人の稔さんは子どもたちの人気者(プレイパークにて)



平成29年度 青少年問題を考える集会

津久井やまゆり園事件を受けて
～障がい者が共に生きる社会を考える～



日時：平成29年7月27日(休) 14時～15時30分

問 福祉課 ☎84-0316

場所：開成町民センター 3階 大会議室

講師：河辺 邦夫(神奈川県知的障害者福祉協会県西地区施設長会 会長)

(社会福祉法人永耕会 永耕園施設長)

※集会当日、役場と福祉会館にて、町内障がい児者施設、障害者協会の皆さんと「社会を明るくする運動」のシンボルである黄色のひまわりの植苗を行います。